



第15回 聖光会学会

『地域医療・介護ルネサンス』

～過去に学びながら、未来に向けた地域医療・介護の実践～

平成30年3月3日(土)

会場：ラフレさいたま

主催：聖光会グループ

● 目 次 ●

開催概要	1
主要プログラム	2
学会長挨拶	3
理事長挨拶	4
学会参加者のご案内	5
座長および演者の皆様へ	6
会場周辺・交通のご案内	7
会場案内図	8

演題プログラム

セッション 1 ～ 2	口述 (3F 櫻ホール)	9
セッション ～ 3	口述 (4F 檜の間)	10
セッション 4 ～ 5	口述 (4F 檜の間)	11
ポスター 6 ～ 7	(5F 桃の間)	12
特別講演	(3F 櫻ホール)	13
演題抄録		14 ～ 51
企業展示のご案内	(3F 櫻ホール前)	52

≪その他≫ 協賛企業様広告・ラフレさいたま各会場案内図

MEMO

● 第 15 回聖光会学会開催概要 ●

- 主 催 聖光会グループ
- 開 催 平成 30 年 3 月 3 日（土）14:00～
- 会 場 ラフレさいたま
〒330-0081 さいたま市中央区新都心 3-2
TEL 048-600-5500
URL <http://www.rafre.co.jp/>
- 学 会 長 医療法人光仁会 南部厚生病院 院長 池田 真
テーマ 『地域医療・介護ルネサンス』
～ 過去に学びながら、未来に向けた地域医療・介護の実践 ～
- 幹 事 南部厚生病院
春日部厚生クリニック
居宅介護支援事業所ひまわり
訪問看護ステーションひまわり
訪問介護ステーションひまわり
春日部市第 6 地域包括支援センター
春日部定期巡回・随時対応型訪問介護看護ひまわりケアセンター
居宅介護支援事業所ひまわり武里
- 事 務 局 医療法人光仁会 南部厚生病院
〒344-0021
春日部市大場 20-1
TEL 048-736-7511
FAX 048-736-8711
準備委員長 窪田 康弘（南部厚生病院）
副委員長 青木 邦子（南部厚生病院）
副委員長 長谷部 朋子（ひまわり在宅部門）
副委員長 菅 伸治（春日部厚生クリニック）
※general manager 永塚 暁生（光仁会法人統括部長）

● 主 要 プ ロ グ ラ ム ●

平成 30 年 3 月 3 日（土） 14：00～17：55

- 14：00～14：15 開会式 3 階「櫻ホール」
 学会長挨拶 医療法人光仁会 南部厚生病院
 院長 池田 真
 理事長挨拶 聖光会グループ
 理事長 西村 直久
- 14：15～16：30 一般演題 口述発表 3 階「櫻ホール」セッション①②③
 15：10～16：30 口述発表 4 階「櫟の間」セッション④⑤
 15：00～16：30 ポスター発表 5 階「桃の間」セッション⑥⑦
- 16：45～17：45 特別講演 3 階「櫻ホール」
- 17：50～17：55 閉会式 3 階「櫻ホール」
- 18：00～19：30 懇親会 4 階「櫟の間」
- 13：30～16：30 協力企業展示 3 階「櫻ホール」ロビー廊下

14:00～		15:00～			16:30	16:45～17:45	17:50～	18:00～19:30
口 述 ポ ス タ ー	カイ 3階 サクラ 櫻ホール	開 会 式	14:15～14:55 セッション1 1～5	15:00～15:40 セッション2 6～10	15:45～16:30 セッション3 11～15	休 憩 トクベツ コウエン 特別講演 カイ 3階 サクラ 櫻ホール	閉 会 式	コンシンカイ 懇親会 カイ 4階 ケヤキ マ 櫟の間
	カイ 4階 ケヤキ マ 櫟の間			15:10～15:50 セッション4 6～10	15:50～16:30 セッション5			
	カイ 5階 モモ 桃の間			15:00～15:45 セッション6	15:45～16:30 セッション7			

● 学 会 長 挨 拶 ●

この度、第 15 回聖光会学会を 2018 年 3 月 3 日（土）、さいたま新都心に御座います、「ラフレさいたま」で開催させていただくことになりました。

毎年恒例になりました本学会ではありますが、継続的に開催する事が出来、且つ今回も多く事業所より日々の業務の中での研鑽を深め、演題を応募頂きました事、感謝申し上げます。

超高齢化社会をむかえ、国は、団塊の世代が後期高齢者に移行する 2025 年を目標年度として、保険制度の見直しを進めています。特に本年度は、介護報酬・診療報酬の同時改定をはじめ、第 7 次医療計画・第 7 期介護保険事業（支援）計画・第 3 期医療費適正化計画が、スタートし今後の医療・介護施策の大きな節目の年となります。このような節目の年において、本学会が開催されます事は、大変意義深い事であり、大変光栄な事だと思っております。

今回の保険制度見直しにおける将来のあるべき姿として「患者・利用者の視点に立って、切れ目のない医療及び介護の提供体制を構築する等」が掲げられております。それを踏まえて本学会のテーマを（「地域医療・介護ルネサンス」～ 過去に学びながら、未来に向けた地域医療・介護の実践 ～）とさせて頂きました。変革期となる医療・介護制度と共に超高齢化社会への取組みを計画的に実践する事が大切だと考えます。常に足元を見つめ直しながら、患者・利用者第一主義を主眼に過去の財産から発展的な未来に結んでいく事が必要です。

病院そして介護事業所が、地域への繋がりを大切に、切れ目のない医療・介護の実践を考えることや、各事業所では地域の患者・利用者に向け「今を考える」、そのような機会になればと願っております。

今後とも聖光会グループが、各地域に根付いた医療介護を再追求していく挑戦を、米国の実業家「ジャック・ウェルチ氏の言葉」であります、「Change before you have to.（変革しよう！変革を迫られる前に）」、の実行を皆様と一緒に、この変革期を乗り越えていきたいと考え、私のご挨拶とさせていただきます。

平成 30 年 1 月吉日

第 15 回聖光会学会学会会長
南部厚生病院 病院長 池田 真

● 理 事 長 挨 拶 ●

第 15 回聖光会学会を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

年頭所感でも触れたとおり、2018 年は医療・介護業界にとって惑星直列の年と言われています。惑星直列とは太陽に向かって惑星が一直線に並ぶ、数十年から数百年に一度の現象のようです。

今年 4 月は、①診療報酬と介護報酬の同時改定（6 年に一度）、②第 7 次地域医療計画と第 7 期介護保険事業計画、③国民健康保険の都道府県化、④第 3 期医療費適正化計画、以上の①から④が一斉に開始され、すべての団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向けての序章の年とも言われています。これまでも 2014 年の医療・介護総合確保法の施行、地域包括ケアシステムの構築や地域医療構想の策定など、日進月歩の如く様々な政策が実行されてきました。

さて、当学会も今回で 15 回目を迎え、すっかり定例行事となってきました。今までも優秀な演題を全国の病院学会等で発表いただき、一定の評価を得てきました。これも偏に職員の皆様が、医療・介護の質の向上のみならず、効率化や経営的な視点をもって、日頃の業務に取り組んでいただいた結果だと感謝を申し上げます。今学会のテーマは「地域医療・介護ルネサンス」～ 過去に学びながら、未来に向けた地域医療・介護の実践 ～、まさに当グループに求められている課題を提起していただいたと思っております。過去を振り返り、初心に返り医療サービスの原点を見直すことが肝要と考えています。

最後に池田学会長をはじめ準備に疾走いただいた南部厚生病院、春日部厚生クリニック、ひまわり在宅部門の皆様にお礼を申し上げ、今学会が意義深く盛会であることを祈念し挨拶とさせていただきます。

平成 30 年 1 月吉日

聖光会グループ 理事長 西村 直久

● 学会参加者へのご案内 ●

受 付

3階総合受付にて参加者の名簿チェックをさせていただきます。なお、抄録は事前配布しており、当日お渡しできる用意はしておりません、ご容赦願います。

受付時間

*座長 12:30前 手続きがありますので座長・演者である旨をお申し出下さい。
座長は12:30～座長会があり12:30前に受付をお願いします。

*演者 13:00～ 手続きがありますので座長・演者である旨をお申し出下さい。

*一般参加 13:30～

*開会式は14:00～3階〔櫻ホール〕にて開催いたします。以下、各会場と時刻は主要プログラムをご覧ください。

懇親会のご案内

会 場 4階 〔 櫻の間 〕
時 間 18:00 ～ 19:30

クローク

1階ロビーのカウンター脇に特設のクロークを設けております。貴重品のお預かりは出来ませんのでご了承下さい。

喫 煙

必ず所定の喫煙ルームをお願いします。

携帯電話

会場内では必ず電源をお切りいただくか、マナーモードに設定して下さい。

● 座長および演者の皆様へ ●

座長各位

- ◆ 当日、受付にて座長であることを申し出て座長ネームプレートをお受け取り下さい。
 - ◆ 当日 12：30 から5階 [桂の間] にて座長会開催を予定しております。尚、簡単なお説明を兼ね、ご昼食のご弁当をご用意しております。業務都合で座長会に参加されない方は、口述座長は担当セッション開始 30 分前に次座長席にお付き下さい。（ステージに向かって左側手前に席の表示をします。）
 - ◆ 演題演者の紹介ほか担当セッションの進行は全て座長に一任致します。口述発表は6分、ポスター発表は4分。担当セッションの各発表が終了後に質疑応答時間を各演題 2 分設けております。時間の経過について、口述発表に関しては持ち時間終了 1 分前に 1 鈴、終了時に 2 鈴を鳴らします。その他質疑応答の時間経過など必要に応じて隣席のタイムキーパーに問合わせ確認をお願いします。
 - ◆ 時間管理厳守でお願いします。
- ※その他ご不明な点は、当日の座長会にて確認をお願いします。

発表者各位（演題発表に関する留意事項）

- ◆ 当日、受付にて演者であることを申し出て演者ネームプレートをお受け取り下さい。
- ◆ 当日、口述会場には演者席・次演者席を設けます。確認をお願いします。（ステージに向かって左側手前に席の表示をします。）
- ◆ 各ご担当セッションの開始時刻 30 分前には次演者席に付いて下さい。
- ◆ パワーポイント操作はご自身もしくは、共同演者の方をお願いします。
- ◆ 学会当日のスライド差替えはご遠慮下さいます様重ねてお願い申し上げます。
- ◆ 座長から発表演題・施設名・演者名の紹介がありますので、その部分は省略し発表を開始して下さい。
- ◆ 口述の発表時間は6分で、開始5分後に 1 鈴、6分で2鈴鳴らします。ポスターの発表時間は4分です。ともに時間厳守でお願いします。質疑応答は各発表終了後、質疑応答時間を各演題 2 分設けております。セッション内での進行は座長の指示に従って下さるよう協力をお願いします。

● 会場周辺図・交通のご案内 ●



【電車の交通案内】

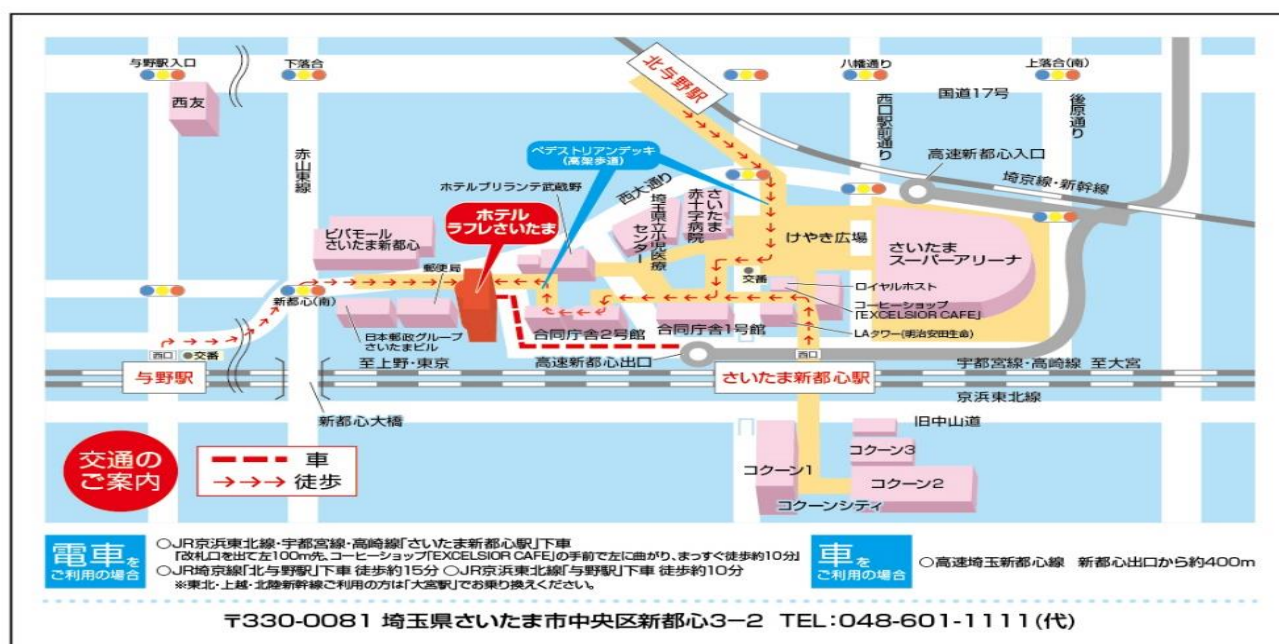
JR 京浜東北線・宇都宮線・
高崎線「さいたま新都心」駅
下車 徒歩7分。

JR 埼京線（各駅停車利用）

「北与野」駅下車 徒歩10分

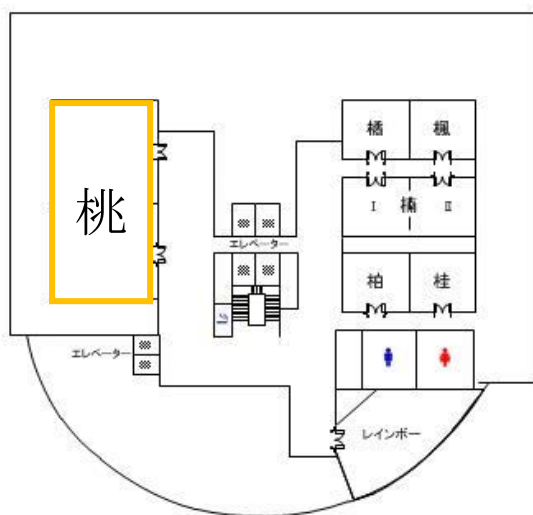
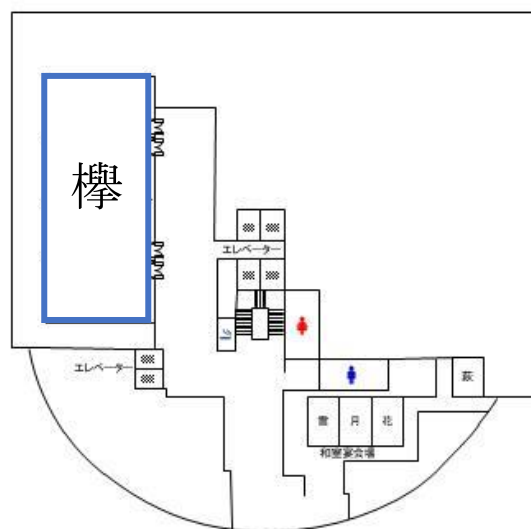
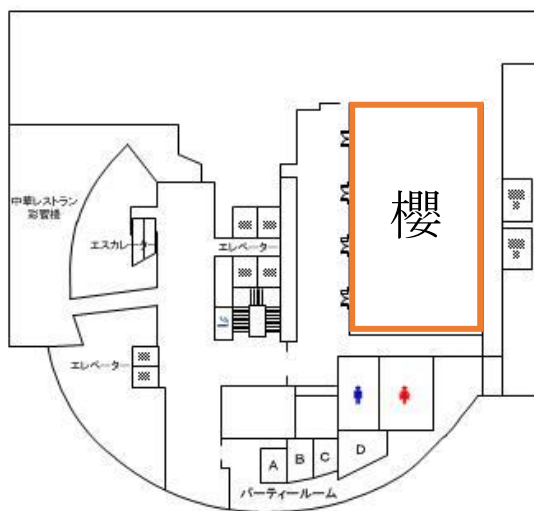
※東北新幹線、上越新幹線を
ご利用の方は「大宮」駅でお
乗り換え願います。

【会場周辺地図】 懇親会ご参加の方は、車での来場はお控え下さい



● 会 場 案 内 図 ●

※ 学会抄録冊子の最終頁にラフレさいたま会場の詳細レイアウトをご確認願います。



第15回聖光会学会演題プログラム

※一般演題（口述発表） 会場 3階「^{さくら}櫻ホール」

◆14:15～14:55 セッション1 座長：春日部厚生病院 看護部 ^{ふじくら}藤倉^こみち子

1. 「申し送りの時間短縮を目指して」

南部厚生病院 看護部 3階病棟 ^{こうきか}高坂^{じゅん}潤・・・14

2. 「チーム支援型を効果的に運用する新人教育について」

西部総合病院 看護部 3階西病棟 ^{たぐち}田口^{まい}麻衣・・・15

3. 「外来看護師によるトリアージの重要性」

～看護師の意識改善・システムの改善を試みて～

西部総合病院 看護部 外来 ^{くりはら}栗原^{ゆうこ}優子・・・16

4. 「地域包括ケア病棟用のクリニカルパスを作成して」

～よりよい退院支援のために～

西部総合病院 看護部 3階南病棟 ^{うえはら}上原^{かおり}香織・・・17

5. 「医療・介護連携」

～地域包括ケア実現に向けたとりくみ～

春日市第6地域包括支援センター ^{つねみ}常見^{みわこ}美和子・・・18

※一般演題（口述発表） 会場 3階「^{さくら}櫻ホール」

◆15:00～15:40 セッション2 座長：西部総合病院 看護部 ^{かとう}加藤^{ゆきこ}雪子

6. 「糖尿病患者のセルフケア行動を維持するために」

～栄養指導、スタッフの関わりから患者の変化～

南部厚生病院 看護部 外来 ^{きくち}菊池^{ゆか}由香・・・19

7. 「排便コントロールの実現に向けて」

～ケアワーカーからのアプローチ・独自スケールの作成～

南部厚生病院 看護部 2階病棟 ^{いしかわ}石川^{いくこ}育子・・・20

8. 「排便コントロールの実現に向けてⅡ」

～2事例 ケアワーカーからのアプローチ～

南部厚生病院 看護部 2階病棟 ^{しらかわ}白川^{ともみ}朋美・・・21

9. 「NST の介入で栄養管理を行った右下腿黒色壊死の一例」

西部総合病院 栄養サポートチーム ^{もり}森^{あや}綾・・・22

10. 「後期高齢者のたべたい欲求を実現させるための看護師の取り組み」

西部総合病院 看護部 3階南病棟 ^{ほそだ}細田^{けいた}啓太・・・23

※一般演題（口述発表） 会場 3階「^{さくら}櫻ホール」

◆15：45～16：30 セッション3 座長：南部厚生病院 看護部 ^{しんぎとうち}新行内 ^{みか}美香

11. 「病棟における口腔ケアの情報共有を目指して」

西部総合病院 看護部 3階南病棟

^{ながす}長須 ^{ゆか}結加・・・24

12. 「看護サマリーの改善を試みて」

～病院から地域へ継続看護の提供を行う大切さ～

西部総合病院 看護部 2階東病棟

^{しらい}白井 ^{なみ}奈美・・・25

13. 「脳梗塞発症により高次脳機能障害が生じ自発性の低下から

ADLの低下がみられた高齢者への関わり」

西部総合病院 看護部 2階西病棟

^{とだ}戸田 ^{まさこ}正子・・・26

14. 「ピクトグラムを用いたADL表の効果」

～スタッフ間での共通認識を目指して～

春日部厚生病院 看護部 3階西病棟

^{おくはら}奥原 ^{こうた}孝太・・・27

15. 「誤薬を防ぐために簡易与薬マニュアルを作成して」

～インシデントレポートの統計より～

春日部厚生病院 看護部 2階東病棟

^{よこい}横井 ^{ちか}智香・・・28

※一般演題（口述発表） 会場 4階「^{けやき}樺の間」

◆15:10～15:50 セッション4 座長：春日部厚生病院 経営管理部 ^{みすみ}三角 ^{まさお}昌男

16. 「緩和ケア病棟の設立における医事課の役割」

～医事課での取り組みと施設基準・算定の確認～

南部厚生病院 経営管理部 医事課

^{やまもと}山本 ^{やすお}康雄・・・29

17. 「デイサービスにおける看護職と介護職の協働について」

～どうして私達は辞めないのか～

デイサービスセンターさくらの里

^{こばやし}小林 ^{みゆき}三幸・・・30

18. 「当院地域包括ケア病棟の現状報告」

西部総合病院 経営管理部

^{わたなべ}渡邊 ^{あきら}彰・・・31

19. 「円滑な転院に向けて」～さいたま赤十字病院との

転院体制構築支援事業から～

西部総合病院 医療社会福祉課

^{まつなが}松永 ^{そうこ}壮子・・・32

20. 「本部における業務効率化への取り組み」

～PCA 人事管理 X・給与 X・就業管理 X

導入による今後の展望と課題～

聖光会グループ本部 総務部

^{わたなべ}渡辺 ^{りょうすけ}涼介・・・33

※一般演題（口述発表） 会場 4階「^{けやき}樺の間」

◆15:50～16:30 セッション5 座長：南部厚生病院 リハビリテーション科 ^{こばやし}小林 ^{のりひさ}徳久

21. 「長下肢装具に SPEX 膝継手を処方した脳卒中片麻痺の症例」

西部総合病院 リハビリテーション部

^{つかごし}塚越 ^{りょう}諒・・・34

22. 「回復期病棟における FIM を用いた自宅復帰の検討」

西部総合病院 リハビリテーション部

^{くろべ}黒部 ^{けいすけ}啓輔・・・35

23. 「回復期退院支援」

～質の向上に向けて～

春日部厚生病院 リハビリテーション部

^{ふじた}藤田 ^{けん}賢・・・36

24. 「部内教育の新しい取り組みと今後の課題」

～OJT およびキャリアラダーの導入～

春日部厚生病院 リハビリテーション部

^{いのうえ}井上 ^{ともき}智貴・・・37

※一般演題（ポスター発表） 会場 5階「桃の間」

◆15：00～15：45 セッション6 座長：西部総合病院 看護部 日野 めぐみ

25.「認知症患者のトイレ誘導を試みて」

南部厚生病院 看護部 3階病棟 荒屋 悟・・・40

26.「経管栄養から経口摂取へ」～食べる楽しみへの取り組み～

南部厚生病院 看護部 2階病棟 大内 美枝子・・・41

27.「患者の個々に応じたオムツの当て方の統一」～オムツ交換の時間短縮～

春日部厚生病院 看護部 2階病棟 佐藤 美幸・・・42

28.「経管栄養から経口摂取への援助」

春日部厚生病院 看護部 3階東病棟 蓮見 亜希子・・・43

29.「オムツ着用からくるストレス緩和効果、改善の試み」～独自の統計調査を通して～

春日部厚生病院 看護部 久保 貴子・・・44

30.「平成29年度より新設された介護予防・日常生活支援総合事業」

～通所型Aの厚生クリニックでの取り組み～

春日部厚生クリニック リハビリデイサービスセンター 篠永 浩二・・・45

31.「通所介護開設後、通所リハビリテーションより通所介護へ

移行した利用者様の関わりについて」

春日部厚生クリニック 通所介護 矢崎 弥生・・・46

※一般演題（ポスター発表） 会場 5階「桃の間」

◆15：45～16：30 セッション7 座長：訪問看護ひまわり 岡本 弥生

32.「精神負荷と外乱が介助姿勢と介助動作時の腰部の循環動態

および筋活動に及ぼす影響と体幹伸展運動の効果」

春日部厚生病院 リハビリテーション部 奥村 崇幸・・・47

33.「当院におけるFIM項目と自宅復帰との関連」～早期自宅退院に向けて～

春日部厚生病院 リハビリテーション部 菊池 あずさ・・・48

34.「ベットマットレスの機能性」

春日部厚生病院 看護部 2階東病棟 坂田 京子・・・49

35.「外来記録用紙の作成を試みて」

春日部厚生病院 看護部 外来 窪谷 知加子・・・50

36.「回復期リハビリ病棟の退院調整に関するアセスメント能力の

向上を目指して」～退院調整アセスメントシートの導入～

春日部厚生病院 看護部 2階西病棟 佐藤 美智子・・・51

37.「転倒・転落に関する要因」～事故記録のデータ収集にみる傾向と対策～

春日部厚生病院 看護部 3階西病棟 大塚 遥華・・・52

38.「食事アンケート結果」～温冷配膳車導入前後の比較～

春日部厚生病院 栄養科 秋元 麻衣子・・・53

特別講演

● 第 15 回聖光会学会プログラム ●

医療法人社団 東北福祉会

介護老人保健施設せんだんの丘

統括部長 加藤 誠様

「地域生活を支える介護老人保健施設」

～ケアマネジメントの視点から～

座長 光仁会統括部長 永塚 暁生

会場 3 階 櫻ホール (16:45～17:45)

ご略歴等

【資格】 社会福祉士・介護支援専門員

【職歴】 平成 12 年 せんだんの丘 介護職として入職
平成 13 年 支援相談員
平成 21 年 地域管理部長
平成 24 年 統括部長 (現)

【役員歴】 ・宮城県ケアマネジャー協会仙台支部 理事

【委員歴】 ・全老健ケアマネジメント部会 委員

【演題概要】 介護老人保健施設や居宅事業が地域での生活を支える為に、どのような視点で支援に当たるべきなのか実践例を通じてご紹介します。
また、昨今声高に言われている自立支援・リハビリテーションの観点について、どのように末端まで浸透させていくかをケアマネジメントの視点からお話します。
生活に支障が出て、その支障をどのように捉え、最終的にどのような生活を目指しているのか？専門職と呼ばれる我々の解釈と、実際の生活者の感じ方は、本当に一致しているのでしょうか。一過性の流行で終わらせないために、私たちが大事にしてきた事をお伝えできれば幸いです。